

平成25年度

「産業技術史資料調査」手順等の説明資料

<資料内容>

※ページを示す数字をクリックすれば該当ページへ

1. 調査の流れ…………… P. 1
[依頼・調査票配布～回収・データベース
化等、調査の大まかな流れのイメージ図]
2. 調査票記入上のお願ひ…………… P. 2～4
[調査対象や調査票記入方法、データの
扱い等の簡単な説明]
3. (1) 調査票記入サンプル(表面)…………… P. 5
(2) 調査票記入サンプル(裏面)…………… P. 6
[調査票への実際の記入例]
4. 評価指針…………… P. 7
[産業技術史資料(本調査の対象)の基準]
5. 調査対象サンプル…………… P. 8～9
[産業技術史資料の実例]
6. 調査結果のウェブ公開イメージ…………… P. 10
[インターネットでの公開データベース画面]

産業技術史資料調査のながれ

調査票の配布
工業会・協会など

国立科学博物館
(業務委託法人)

調査票の記入
会員法人

表 裏

調査票の回収
工業会・協会など

調査票のデータ-ス化
インターネット公開用画面の作成
国立科学博物館
(業務委託法人)

- カメラ技術
- 自動車技術
- 鉄道技術

新たにアイコンが
作られます!

インターネット公開画面の確認
工業会・協会など
↓
会員法人

ご記入頂いた調査票を元に
資料を公開します!

インターネット公開画面の修正
業務委託法人

インターネットで公開されるのは

- 資料名称
- 所在場所
- 所在住所(市区町村名まで)
- 製作(製造)年
- 種類
- 製作者(社)名
- 資料の特徴

データ-スのインターネット公開
国立科学博物館
(業務委託法人)

産業技術史資料調査票 〈記入上のお願ひ〉

この調査は、国立科学博物館が産業技術史資料情報センター事業の一環として行なうもので、主として次のような点をうかがい、その所在等の一覧表を作成することを目的としています。

●調査について

(1) 調査対象資料

ここでいう産業技術史資料とは、今回の調査対象であるボルト、ナットなどのねじ類の開発・製造に関する技術分野のなかで、我が国の産業技術の発展に貢献した、あるいは産業技術の発達を示す具体的な事物を指しています。

(貴社の創立以来) 今日までの発展過程で重要な役割を果たした次のような現存する事物で、原則として製造・作成・使用後10年を経過したものを取り上げて下さい。(参考資料「産業技術史資料 評価指針」)

- ① 施設、構造物
- ② 設備、機械、計測器・道具および工具
- ③ 製品(完成品、試作品、量産品等を含む)
- ④ 部品類、材料、試料など
- ⑤ 標本、模型、複製(レプリカ)、写真(原則として戦前期に現像されたようなもので、希少かつ複製の作成が容易でないもの)、マイクロフィルム
- ⑥ 設計図、仕様書、工業規格、カタログ等
- ⑦ 文献(該当する技術の発達に直接・間接に関係した文書、書籍、雑誌等をいい、原則として後年になって会社の歩みをまとめた社史等は除く)、記録映像、特許公報等
- ⑧ 日記、メモ等の手稿
- ⑨ その他

(2) 資料年代の範囲

原則として幕末から現代までの工業化過程を対象としますが、必要に応じて過去にさかのぼっていただいても構いません。

●記入について

(1) 調査表記入日

ご記入いただいた年月日を西暦でお書き下さい。

(2) 記入者

本調査票に記入された方の法人名(会社名または団体名)、部課名、電話番号、記入者名(氏名)をお書き下さい。

●貴社において保有されている産業技術史資料の所在について

※1. 資料名称

正式名称をご記入下さい。また、型式がある場合は型式名もご記入下さい。

※2. 所在地

(組織名) ……資料が保管されている場所(組織名)をご記入下さい。

記入者欄と同じ社名(団体名)の場合は、同上とご記入下さい。

(住所) ……上記の郵便番号と住所を都道府県名から番地まで(必要な場合はビル名等も)ご記入下さい。

3. 管理・所有者

(組織名) …… (「2. 所在地」と同じ場合は同上とご記入下さい。)

資料の管理をされている担当部課名のみご記入下さい。

「2. 所在地」と異なる場合は、社名(団体名)からご記入下さい。

(住所) …… 「2. 所在地」と異なる場合のみご記入下さい。

(電話番号) …必ずご記入下さい。

4. 担当者

(氏名) ……資料について現在最も情報をお持ちの方のお名前をご記入下さい。

(所属) …… (「3. 管理・所有者」と同じ場合は同上とご記入下さい。)

「3. 管理・所有者」と異なる場合のみご記入下さい。

●上記資料について

※5. 製作(製造)年

資料の製作年(量産品の場合は第一号機の製作年)を西暦でご記入下さい。「製作年」での資料検索を可能にするため、製作年(量産品の場合は第一号機の製作年)が特定できない場合は、おおよその製作年を()内に何年～何年(頃)とご記入下さい。

※6. 製作社(者)

資料を製作された会社名(団体名)、または製作者名をご記入下さい。

※7. 資料の種類

試作品、量産品、複製(レプリカ)、模型、設計図・文献、写真の中から該当する項目を選定して下さい。上記のものに該当しないものについては、その他として()内に具体的に記入下さい。例えば受注生産品等は、その他とし、()内にその旨ご記入下さい。

8. 資料の現状

当該資料は、保存されているのか、使用中なのか、あるいは現在展示されているのか、その状況についてご記入下さい。「使用中」の場合、その資料が現在も稼働している場合は稼働中、製造されているものは製造中として下さい。「展示中」の場合、現在動かしているまたは、動かすことが可能な場合は動態、不可能な場合は静態として下さい。

※9. 公開・非公開

この資料は一般に公開されているか、非公開となっているかをご記入下さい。

※10. 特徴

産業技術史資料として選出された理由について、例えば「国産一号機」とか「技術の革新や変化に顕著な役割を果たした」とか、「プロトタイプ」など、100～200字以内でご記入下さい。なお、資料名称が型式などだけで分かりにくい場合は、その資料の一般的な呼称も含めてお書き下さい。

※11. 写真

上記産業技術史資料の全体写真(サービスサイズ〈L判〉のプリントで結構です)を調査票裏面に添付して下さい。

なお、鮮明な画像をデータベースに掲載するため、画像データやカタログ等でご提出いただく場合は、できるだけオリジナルをお送りいただきますようお願いいたします。

また、画像ファイルにて提出される場合は、解像度300～400dpi(デジタルカメラで撮影される場合は高画質の設定による撮影)で保存されたJPEG画像ファイルを調査票と併せてご提出下さい。なお、画像データにつきましては、データベース化の際に、本来の色と多少の違いが生じる場合がありますことを予めご了承下さい。

●本調査結果

本調査結果は、以下のようにまとめる予定です。

※印について

※印のついている項目は、本調査活動の報告書、並びにインターネットで公開する予定です。但し、「2. 所在地」については公開情報を制限し、細かい情報は公開致しません。（組織名称は社名から部署または工場名まで公開し、住所は都道府県から市区町村までを公開します。）また、既に公開済みのデータは下記のURLにてご覧いただくことができます。

<http://sts.kahaku.go.jp/sts/index.php> （本調査研究のために作成したURL）

○調査票の締め切り……………平成26年8月8日（金）

本調査のとりまとめのためご回答いただく期日を勝手ながら決めさせていただきました。

ご多忙中大変恐縮ですが、平成26年8月8日（金）までにご回答下さい。

（調査票のご提出は、eメール・郵送・FAX等、方法はいつでも構いませんが、裏面添付写真は、元データをメールで、もしくはL版にプリントしたものを郵送等でお送り下さい）

○調査票のご返送先

一般社団法人 日本ねじ工業協会

専務理事 大磯 義和 様、総務部担当部長 荻上 和彦 様

〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館 508号

TEL : 03-3434-5831 FAX : 03-3434-0546

E-mail : honbu@fij.or.jp

○本調査についてのお問い合わせ

株式会社 総合マーケティング・ビューロー 担当：小杉

〒105-0011 東京都港区芝公園1-7-8 ITビル

TEL : 03-3431-2547 FAX : 03-3459-8747

E-mail : kosugi@smb.co.jp

○本事業全体についてのお問い合わせ

国立科学博物館産業技術史資料情報センター 担当：久保田

〒305-0005 茨城県つくば市天久保4-1-1

国立科学博物館 筑波研究施設 産業技術史資料情報センター

TEL : 029-853-8394（代表）

FAX : 029-853-8998

E-mail : sts2006@kahaku.go.jp

No. こちらには記入しないで下さい。 _____.

受付日：

産業技術史資料調査票

| | | | |
|--|---------|---|--------------------------------|
| 調査票記入日 | | ××××(西暦)年×月×日 | (こちらには記入しないで下さい。) |
| 記入者 | 社名(団体名) | ・本調査票に記入された方の法人名(会社名または団体名) 例:○○株式会社 | |
| | 部課名 | ・本調査票に記入された方の部課名 例:○○部○○課 | 電話番号 ×× — ××× — ××× 記入者名 科博 花子 |
| 関連団体 | | ・こちらには記入しないで下さい。 | |
| 1. 資料名称 正式名称をご記入下さい。 | | ・資料の正式名称 例:○○式○○機 (型式名 例:KH-××) | |
| 2. 所在地 資料が保管されている組織名および住所をご記入下さい。 | | (組織名) ・資料が保管されている場所(組織名) 例:○○株式会社○○製作所 ・記入者欄と同じ法人名の場合は、“同上”と記入 (住所) 〒×××-×××× ○○県○○市○○町×丁目×-× | |
| 3. 管理・所有者 資料を管理されている担当部課名をご記入ください。2.所在地と異なる場合は、社名(団体名)からご記入下さい。 | | (組織名) ・「2.所在地」と同じ場合は“同上”と記入し、資料を管理している担当部課名のみ記入 例:同上 ○○部○○課 ・「2.所在地」と異なる場合は法人名(会社名または団体名)から記入 (住所) 〒 ・「2.所在地」と異なる場合のみ記入 (電話番号) ××× — ×× — ×××× | |
| 4. 担当者 | | (氏名) 科博 太郎 (所属) ・「3.管理・所有者」と同じ場合は“同上”と記入 ・「3.管理・所有者」と異なる場合のみ記入 (この資料について最も情報をお持ちの方をご記入下さい) | |
| 5. 製作(製造)年 | | 西暦 ××××年(年～ 年頃) ・()内は、製作年が特定できない場合のみ、おおよその製作年をに何年～何年頃と記入 ・量産品の場合は第1号機が製作された年を記入 | |
| 6. 製作社(者) | | ・資料を製作された法人名(会社名または団体名)もしくは製作者名 ↓・該当する項目がない場合は「g.その他」にチェックし()内に具体的に記入 例:☑g.その他(受注生産品) | |
| 7. 資料の種類 | | <input type="checkbox"/> a. 試作品 <input type="checkbox"/> b. 量産品 <input type="checkbox"/> c. 複製(レプリカ) <input type="checkbox"/> d. 模型 <input type="checkbox"/> e. 設計図・文献 <input type="checkbox"/> f. 写真 <input type="checkbox"/> g. その他() | |
| 8. 資料の現状 | | <input type="checkbox"/> a. 保存 <input type="checkbox"/> b. 使用中(<input type="checkbox"/> 稼動中、 <input type="checkbox"/> 製造中) <input type="checkbox"/> c. 展示(<input type="checkbox"/> 動態 <input type="checkbox"/> 静態) ←・当該資料は保存されているのか、使用中なのか、現在展示されているのか、現在の状況に当てはまるものにチェック | |
| 9. 公開・非公開の別 | | <input type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 ←・この資料が一般に公開されているか、非公開とされているか、当てはまるほうをチェック | |

| | |
|---|--|
| <p>10. 特 徴</p> <p>この資料の特徴を100～200文字でご記入下さい。なお、資料名称が型式などだけで分りにくい場合は、その資料の一般的な名称も含めてお書き下さい。</p> <p>(例：国産一号機・技術の革新や変化に顕著な役割・プロトタイプ など)</p> | <p><写真> (全体写真)</p> <p>・資料の全体写真を枠内に貼付して下さい。</p> <p>・複写機でコピーした写真の貼付は、極力お避けください。</p> <p>画像をデジタルデータで提出される場合は、解像度300～400dpi（デジタルカメラで撮影される場合は高画質の設定による撮影）で保存されたJPEG画像データを調査票のExcelデータとは別ファイルとしてご提出下さい。</p> <p>なお、画像データにつきましては、データベース化の際に、本来の色と多少の違いが生じる場合がありますことを予めご了承下さい。</p> |
| | <p>※ 事務局使用欄</p> |

— 産業技術史資料 評価指針 —

平成12年 3月24日
国立科学博物館「産業技術史資料の評価・保存・
公開等に関する調査研究」企画推進委員会

(評価の指針)

「産業技術史資料」とは、我が国の産業技術の歴史を示す具体的な事物であって、以下の各項のいずれかに合致するものをいう。

1. 産業技術発達史上重要な成果を示すもの
2. 産業技術を次世代に継承していく上で重要な意義をもつもの
3. 国民生活、経済、社会、文化の在り方に顕著な影響を与えたもの

なお、本指針は、産業技術資料の収集・評価にあたって適用すべき包括的な基準として定めたものであり、具体的な分野、テーマに応じて評価を行なう場合には、更に追加的な基準を設けて絞り込みを行なうものとする。

(各項の内容)

1. 産業技術発達史上重要な成果を示すもの

- (1) 産業技術の発展の重要な側面及び段階を示すもの
- (2) 国際的に見て日本の産業技術発展の独自性を示すもの
- (3) 新たな産業分野の創造に寄与したもの
- (4) 地域等の発展の観点から見て記念となるもの

2. 産業技術を次世代に継承していく上で重要な意義をもつもの

- (1) 日本のものづくりの心と技を端的に示すもの
- (2) 我が国産業技術の発展に貢献した代表的人物の創造的活動の事蹟を示すもの
- (3) 試行錯誤、失敗の事例など産業技術の継承を図る上で重要な教育的価値を有するもの
- (4) 次世代の技術者となる若者の創造性や技術開発意欲を高めることに貢献するもの

3. 国民生活、経済、社会、文化の在り方に顕著な影響を与えたもの

- (1) 国民生活の発展、新たな生活様式の創出に顕著な貢献のあったもの
- (2) 日本経済の発展と国際的地位の向上に一時代を画するような顕著な貢献のあったもの
- (3) 社会、文化と産業技術の関わりにおいて重要な事象を示すもの

— 注 —

＜対象となる技術の範囲＞

我が国の産業技術とは、工業分野をはじめとし、農林水産業、運輸通信、建設業等、我が国の諸産業活動を広く対象とする。また、必要に応じて海外の技術についても対象に含めることを妨げない。

＜対象となる時代＞

原則として幕末以降の工業化過程を対象とするが、必要に応じて範囲を遡及的に拡大することを妨げない。また年代の下限は設けない。

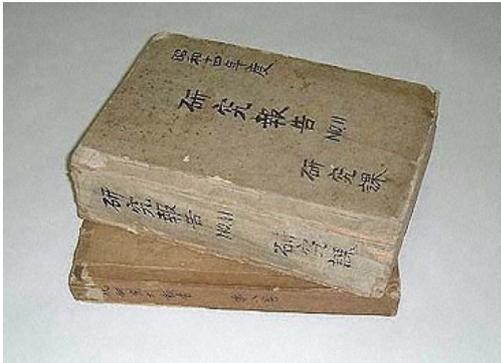
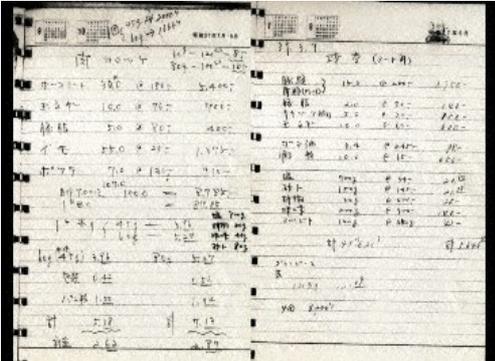
＜対象とする事物＞

ここでいう具体的な事物とは、以下のものを示す。

- 1 施設、構造物
- 2 設備、機械、計測器・道具および工具
- 3 製品（完成品、試作品、量産品等を含む）
- 4 部品類、材料、試料など
- 5 標本、模型、複製（レプリカ）、写真、マイクロフィルム
- 6 設計図、仕様書、工業規格、カタログ
- 7 文献（書籍、雑誌等）、PR映画、特許公報等
- 8 日記、メモ等の手稿
- 9 その他

産業技術史資料調査では、例えば以下のような現存する実物の情報を調査しています。

| 調査の対象となる事物 | 調査にご協力いただいた団体 | 資料名称 |
|--------------------|-----------------------------------|--|
| ①施設、構造物 | (社)全国清涼飲料工業会 資料番号：107610851007 | ニッカウキスキー(株)北海道工場及び見学施設  |
| ②設備、機械、計測器・道具および工具 | 食品機会工業会 資料番号：103910451011 | MMライン MM  |
| ③製品（完成品、試作品、量産品等） | 日本科学機器団体連合会 資料番号：108210931001 | アッペ屈折計 NAR-1 T  |
| ④部品類、材料、試料 | (社)日本植物油協会 資料番号：108010891003 | 醸造用脱脂大豆  |

| 調査の対象となる事物 | 調査にご協力いただいた団体 | 資料名称 |
|---------------------|----------------------------------|--|
| ⑤標本、模型、複製、写真 | (社)製粉協会 資料番号：101310171065 | 写真帖  |
| ⑥設計図、仕様書、工業規格、カタログ等 | (社)日本冷凍食品協会 資料番号：109011011004 | 南極観測隊宗谷納入仕様書  |
| ⑦文献 | 塩ビ工業・環境協会 資料番号：102190031028 | 古河理化研究所研究報告書(昭和14年分、合本)  |
| ⑧日記、メモ等 | (社)日本冷凍食品協会 資料番号：109011011015 | 黎明期の畜肉をベースの冷凍食品(コロッケ、ロールキャベツ、ハンバーグカツ、焼売)のレシピ  |

資料を検索する

資料所在地: 市町村: 製作(製造)年: 年 ~ 年
 調査機関団体: 資料番号:
 フリーワード検索:
(例:「電気、電力」のようにスペースで区切り、「電気」と「電力」両方の単語を含むデータを検索します(AND検索))

技術分野/大分類

- 映像・情報・コンピュータ関連
Image, Information, Computer
- 電気・電力関連
Electricity
- 産業機械関連
Industrial Machinery
- 自動車・船・一般機械関連
Automobile, Ship, Machine
- 金属関連
Metal
- 化学関連
Chemistry
- 繊維・紙・木材関連
Fiber, Paper, Wood
- 鉱業・建設・窯業関連
Mining, Construction, Ceramics
- 食品・農林漁業関連
Food, Agriculture, Forestry, Fishery
- その他
The others

資料を検索する

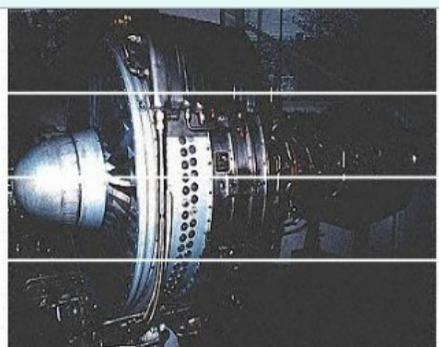
資料所在地: 市町村: 製作(製造)年: 年 ~ 年
 調査機関団体: 資料番号:
 フリーワード検索:
(例:「電気、電力」のようにスペースで区切り、「電気」と「電力」両方の単語を含むデータを検索します(AND検索))

技術分野/小分類 [自動車・船・一般機械関連]

- ▶ アミューズメントマシン技術
- ▶ ガスメーター技術
- ▶ 楽器技術
- ▶ カメラ技術
- ▶ 計量機器技術
- ▶ 航空宇宙技術
- ▶ 産業車両技術
- ▶ 自動車技術
- ▶ 自動車車体技術
- ▶ 自動車部品技術
- ▶ 造船技術
- ▶ 鉄道技術
- ▶ 鉄道車輛技術
- ▶ 時計技術
- ▶ テープレコーダー
- ▶ 銀塩写真フィルム技術
- ▶ 貨車技術
- ▶ 自動車ブレーキ技術
- ▶ 洗濯機技術
- ▶ タイヤ技術
- ▶ 電球技術
- ▶ 電子卓上計算機技術

FJR710エンジン

資料番号: 100710071001



本データベース記載の画像及びテキストの複製・転載を禁じます

| | |
|---------|---|
| 所在等 | 石川島播磨重工業株式会社 田無工場 史料館 |
| 所在地 | 東京都田無市 |
| 製作(製造)年 | |
| 種類 | 量産品 |
| 製作者(社)等 | 石川島播磨重工業株式会社 |
| 調査機関団体 | 社団法人 日本航空宇宙工業会 |
| 特徴 | 1966年国産大型プロジェクト育成のため通産省工業技術院に「大型工業開発制度」が設けられた。当時当社は川崎重工および三菱重工との3社協調連絡会を主導していたが、国内3社による民間機用ジェットエンジンとして推力5Tクラスのファンエンジン/研究開発の採用を働きかけた結果、1971年から大型プロジェクトとして予算が認められ、1971年8月この開発がスタートした。(実物の一般公開は致していません。お問い合わせは、日本航空宇宙工業会にお願します。) |
| 資料公開状況 | 非公開 |

資料を検索する

資料所在地: 市町村: 製作(製造)年: 年 ~ 年
 調査機関団体: 資料番号:
 フリーワード検索:
(例:「電気、電力」のようにスペースで区切り、「電気」と「電力」両方の単語を含むデータを検索します(AND検索))

検索結果: 509件 (1-10/509) 次10件▶

- FJR710エンジン**
 資料番号: 100710071001
 所在等: 石川島播磨重工業株式会社 田無工場 史料館
 所在地: 東京都田無市
 製作(製造)年:
 調査機関団体: 社団法人 日本航空宇宙工業会
- H1PEX X01エンジン**
 資料番号: 100710071002
 所在等: 石川島播磨重工業株式会社 田無工場 史料館
 所在地: 東京都田無市
 製作(製造)年:
 調査機関団体: 社団法人 日本航空宇宙工業会
- ITS90エンジン**
 資料番号: 100710071003
 所在等: 石川島播磨重工業株式会社 田無工場 史料館